

緊急時対策本部要員訓練(応用演習)コースの実施について

2015年度から実施している緊急時対策本部要員訓練の実績を踏まえ、実践的な演習を通じてシビアアクシデント発生時の対応について確認し、レベルアップしてもらうことを目的とする緊急時対策本部要員訓練(応用演習)コースを開発し、2018年8月に第1回を実施しました。

カリキュラムは講義とシミュレータ訓練の合計2日間の構成で、シミュレータ訓練では、状況判断演習と情報収集演習を実施しました。

状況判断演習は、参加者を2グループに分け、グループ毎にシミュレータでのシビアアクシデント事象観察後に、状況判断/進展予測/対応方向付け等を検討し、検討結果の相互レビューを行いました。

情報収集演習は、シビアアクシデント発生時のプラントや中央制御室の状況をイメージできるようになってもらうことを目的として、中央制御室と緊急時対策本部に分かれて実施し、緊急時対策本部側では中央制御室から適切に情報収集ができると共に、その情報を整理して不足情報は無いかの判断ができるかを演習として実施しました。

参加者からは「緊急時対策本部の対応として、必要なスキルを学ぶことができた」との感想を頂きました。

今回得られたご意見や頂いた要望を踏まえ、改善を図っていきます。



(講義風景)



(情報判断演習後のインストラクタによる解説)



(情報収集演習における緊急時対策本部の様子)



情報収集・連携



(情報収集演習における中央制御室の様子)